

7 専用住宅の規模 (1)

居住専用に建築された「専用住宅」の規模をみると、1住宅当たり居住室数、居住室の畳数 (2) 及び延べ面積 (3) は、それぞれ 4.67 室、31.99 畳、96.07 m²となっている。

平成 25 年と比べてみると、居住室数は 0.19 室の減少、畳数は 0.11 畳の減少、延べ面積は 2.25 m²の減少となった。

都道府県別での順位をみると、平成 30 年の居住室数は全国 31 位、畳数は全国 38 位、延べ面積は 32 位と 30 位台で、平成 25 年から平成 30 年の増減率については、居住室数は 3.9%減の全国 27 位、畳数は 0.3%減の全国 24 位、延べ面積は 2.3%減の全国 29 位であった。

<表 7、付表 7 >

- 1 住宅をその用途により、「専用住宅」、「店舗その他の併用住宅」に区分した。
- 2 洋間など畳を敷いていない居住室は、3.3 m²を 2 畳の割合で換算
- 3 玄関、便所、台所等を含めた床面積

表 7 専用住宅の 1 住宅当たり居住室数、居住室の畳数及び延べ面積 (昭和 53 年～平成 30 年)

	1 住宅当たり 居住室数 (室)		1 住宅当たり 居住室の畳数 (畳)		1 住宅当たり 延べ面積 (m ²)	
	長崎県	全国	長崎県	全国	長崎県	全国
昭和 53 年	4.43	4.44	24.61	26.34	76.65	75.45
58 年	4.68	4.68	26.51	28.19	82.43	81.56
63 年	4.93	4.80	28.75	30.15	87.90	84.95
平成 5 年	4.92	4.79	29.76	30.96	91.73	88.38
10 年	4.92	4.74	30.31	31.37	93.18	89.59
15 年	4.94	4.73	31.33	32.36	96.38	92.49
20 年	4.90	4.64	31.81	32.43	97.45	92.41
25 年	4.86	4.56	32.10	32.55	98.32	92.97
30 年	4.67	4.40	31.99	32.74	96.07	92.06

数値は居住世帯のある住宅
住宅所有の関係「不詳」を含む。

付表 7 専用住宅の 1 住宅当たり居住室数、居住室の畳数
及び延べ面積の他都道府県との比較

	1 住宅当たり居住室数(室)					
	平成 25 年		平成 30 年		増減率(H25-30)	
	順位	順位	順位	順位	順位	順位
全 国	4.56	-	4.40	-	3.5	-
長 崎 県	4.86	30	4.67	31	3.9	27

	1 住宅当たり居住室の畳数(畳)					
	平成 25 年		平成 30 年		増減率(H25-30)	
	順位	順位	順位	順位	順位	順位
全 国	32.55	-	32.74	-	0.6	-
長 崎 県	32.10	36	31.99	38	0.3	24

	1 住宅当たり延べ面積(m ²)					
	平成 25 年		平成 30 年		増減率(H25-30)	
	順位	順位	順位	順位	順位	順位
全 国	92.97	-	92.06	-	1.0	-
長 崎 県	98.32	31	96.07	32	2.3	29

数値は居住世帯のある住宅
住宅所有の関係「不詳」を含む。